

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年1月16日 (2014.1.16)

【公表番号】特表2013-511960(P2013-511960A)

【公表日】平成25年4月11日 (2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-540231(P2012-540231)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/44 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 14/78

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 L 27/00 V

A 6 1 L 31/00 T

A 6 1 L 27/00 C

A 6 1 L 15/03

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月25日 (2013.11.25)

【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

合成キメラタンパク質の形態にある、単離されたタンパク質複合体であって、

(i) 増殖因子、または少なくとも同族増殖因子受容体と結合することができる前記増殖因子のドメイン、および

(i i) 少なくともフィブロネクチン (F N) のインテグリン結合ドメインを含む F N の１つ以上の I I I 型ドメイン

のアミノ酸配列を含む単離されたタンパク質複合体。

【請求項２】

前記増殖因子がインスリン様増殖因子 - I (I G F - I)、インスリン様増殖因子 - I I (I G F - I I)、上皮細胞増殖因子 (E G F)、塩基性線維芽細胞増殖因子 (b F G F) およびケラチノサイト増殖因子 (K G F) から選択される、請求項１に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項３】

前記インテグリン結合ドメインが ₁ インテグリン結合ドメインまたは ₄ インテグリン結合ドメインである、請求項１または２に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項４】

前記 F N の１つ以上の I I I 型ドメインが F N 配列 (配列番号 １) のアミノ酸 １ ２ ６ ６ ~ １ ５ ３ ６ を含む、請求項１または２に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項５】

前記 F N の１つ以上の I I I 型ドメインが F N 配列 (配列番号 １) のアミノ酸 １ ４ ４ ７ ~ １ ５ ３ ６ を含む、請求項１または２に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項６】

前記 F N の１つ以上の I I I 型ドメインが F N 配列 (配列番号 １) のアミノ酸 １ １ ７ ３ ~ １ ５ ３ ６ を含む、請求項１または２に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項７】

I G F B P アミノ酸配列を含まない、請求項１～６のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項８】

F N の付加的断片をさらに含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項９】

前記 F N の付加的断片が F N 配列 (配列番号 １) のアミノ酸 ５ ０ ~ ２ ７ ３ を含む、請求項８に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項１０】

前記 F N の付加的断片が F N 配列 (配列番号 １) のアミノ酸 １ ８ ４ ~ ２ ７ ３ を含む、請求項８に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項１１】

少なくとも１つのリンカー配列をさらに含む、請求項１～１０のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項１２】

前記リンカー配列がプロテアーゼ切断部位を含む、請求項１１に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項１３】

前記リンカー配列が

(i) G l y ₄ S e r (配列番号 7) 、
(i i) G l y ₄ S e r ₃ (配列番号 8) 、
(i i i) (G l y ₄ S e r) ₃ (配列番号 9) 、
(i v) (G l y ₄ S e r) ₄ (配列番号 10) 、
(v) L e u I l e L y s M e t L y s P r o (配列番号 11) 、および
(v i) G l n P r o G l n G l y L e u A l a L y s (配列番号 12)
からなる群から選択される、請求項 11 に記載の単離されたタンパク質複合体。

【請求項 14】

請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体をコードする、単離された核酸。

【請求項 15】

ベクターにおいて 1 つ以上の調節ヌクレオチド配列に作動可能に連結された請求項 14 に記載の単離された核酸を含む、遺伝子構築物。

【請求項 16】

前記単離された核酸がプロモーターに作動可能に連結されている発現構築物である、請求項 15 に記載の遺伝子構築物。

【請求項 17】

請求項 15 に記載の遺伝子構築物を含む、宿主細胞。

【請求項 18】

請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体と、薬学上許容される担体、希釈剤または賦形剤とを含む、医薬組成物。

【請求項 19】

請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体を、含浸、または被覆、あるいは他の方法で含ませた外科用インプラント、スキャフォールドまたは人工補綴物。

【請求項 20】

請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体を含む、創傷用または火傷用包帯。

【請求項 21】

in situで細胞の遊走および増殖のうち少なくともいずれか一方を促進するための医薬の製造における請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体の使用。

【請求項 22】

前記細胞が上皮細胞である、請求項 21 に記載の使用。

【請求項 23】

in vitroで細胞の遊走および増殖のうち少なくともいずれか一方を促進する方法であって、1 つ以上の細胞または組織を請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の単離されたタンパク質複合体をと接触させることを含む方法。